北海道
教育委員会

第125回教育委員会対象セミナー　札幌開催

北海道における授業と校務での ICT活用の状況について

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課
ICT教育指導係長　関　口　祐太郎

本日の内容

内　容

１　はじめに

２　本道におけるICT活用の状況について

３　北海道教育委員会における取組について

1　はじめに

学習指導要領とGIGAスクール構想の関係

平成29年、30年、31年学習指導要領

前文 これからの学校には、（略）一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

育成を目指す資質・能力の三つの柱

- 学びに向かう力、人間性等
- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等

資質・能力の育成

・各教科等で育成を目指す資質・能力の育成
・言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成等

授業改善

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価 主体的・対話的で深い学び

一体的に充実

学習指導要領 総則 第4 児童（生徒）発達の支援 個別最適な学び（教師視点では「個に応じた指導」）、協働的な学び

主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び及び協働的な学びに生かす

GIGA※スクール構想（1人1台端末・高速ネットワーク）（カリキュラム・マネジメントにおける物的な体制整備に位置付けられる。）
教育・学習におけるICT活用の特性・強みを生かし、新学習指導要領の趣旨を実現するため重要な役割を果たす。
※Global and Innovation Gateway for Allの略

（図）新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係（出典：文部科学省）

学習指導要領とGIGAスクール構想の関係

学習指導要領　前文(H29、30、31改訂)

これからの学校には・・・・（略）

一人一人の児童（生徒）が、

自分のよさや可能性を認識するとともに、

あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、

多様な人々と協働しながら

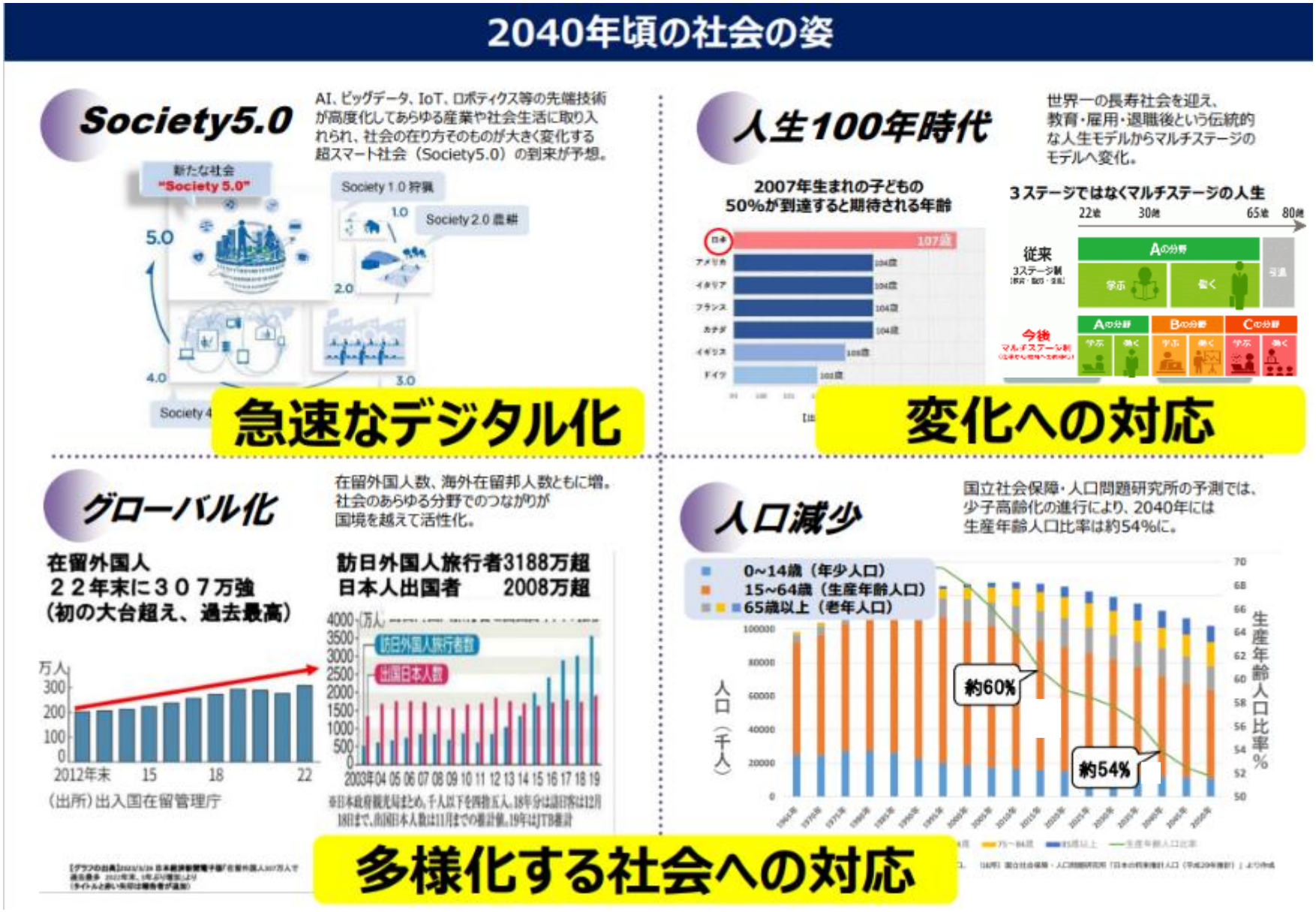
様々な社会的変化を乗り越え、

豊かな人生を切り拓き、

持続可能な社会の創り手となることが

できるようにすることが求められる。

学習指導要領とGIGAスクール構想の関係



学習指導要領とGIGAスクール構想の関係

「個別最適な学び」と「協働的な学び」について

主体的な学び
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び
子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び
習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

授業改善

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

一体的に充実

授業外の学習の改善

個別最適な学び（教師視点では「個に応じた指導」）

学習内容の確実な定着
自ら学習を調整
必要に応じた重点的な指導、指導方法等の工夫
各々の特性・学習進度・学習到達度等
指導の個別化

学習を深め、広げる
自ら学習を調整
一人一人に応じた学習活動・学習課題の提供
各々の興味・関心・キャリア形成の方向性等
学習の個性化

協働的な学び

異なる考え方が組み合わさりよりよい学びを生み出す
多様な他者と協働
一人一人のよい点・可能性
クラスメイト
異学年・他校の子供
地域の人
専門家
等

修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視
の考え方を生かす

・集団に対して共通に教育を行う ・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含 **履修主義**
の考え方を生かす

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」（令和３年１月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）に基づき、概念を簡略化し図等として整理したものである。

学習指導要領とGIGAスクール構想の関係

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について

学習指導要領とGIGAスクール構想の関係

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について

授業改善の観点

主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか

授業改善の観点

対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか

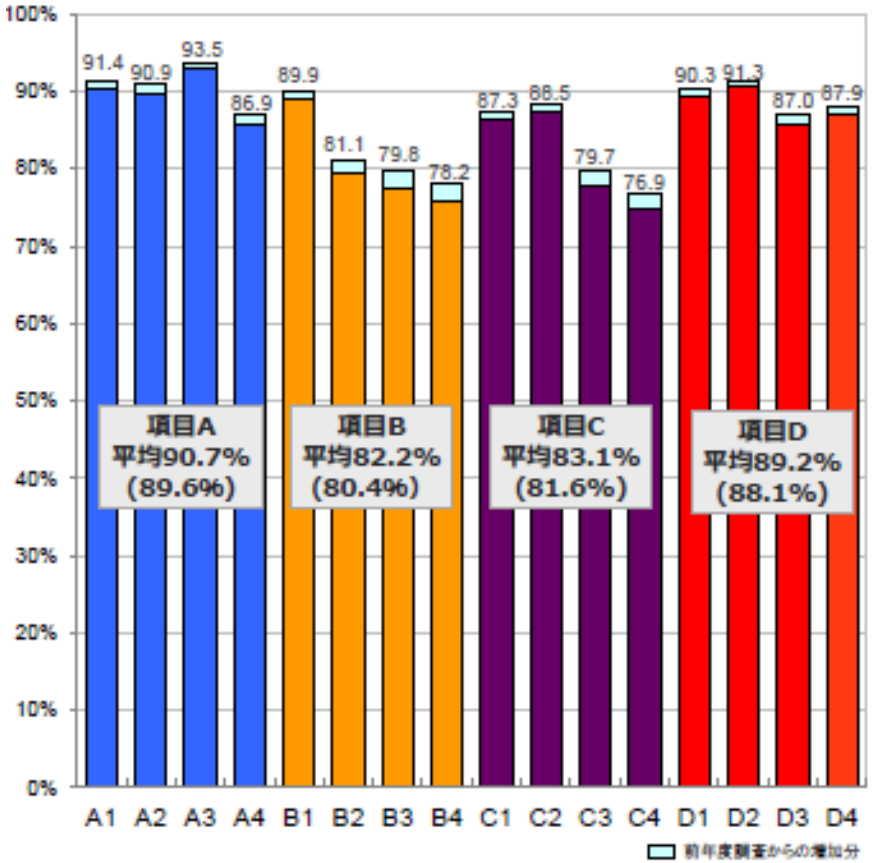
授業改善の観点

学びの深まりをつくりだすために、児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか

２　本道におけるICT活用の状況について

教員のICT活用指導力について

1. 教員のICT活用指導力の状況（16小項目別）



※ ( )内の数値は前年度の値。

※ 文部科学省「教員のICT活用指導力チェックリストの改訂等に関する検討会」において、平成30年度に取りまとめられた4つの大項目（A～D）と16の小項目（A1～D4）からなるチェックリストに基づき、令和5年度において授業を担当している教員が自己評価を行う形で調査を行った。

※ 16の小項目（A1～D4）ごとに「できる」「ややできる」「あまりできない」「まったくできない」の4段階評価を行い、「できる」若しくは「ややできる」と回答した教員の割合を、大項目（A～D）ごとに平均して算出した値。

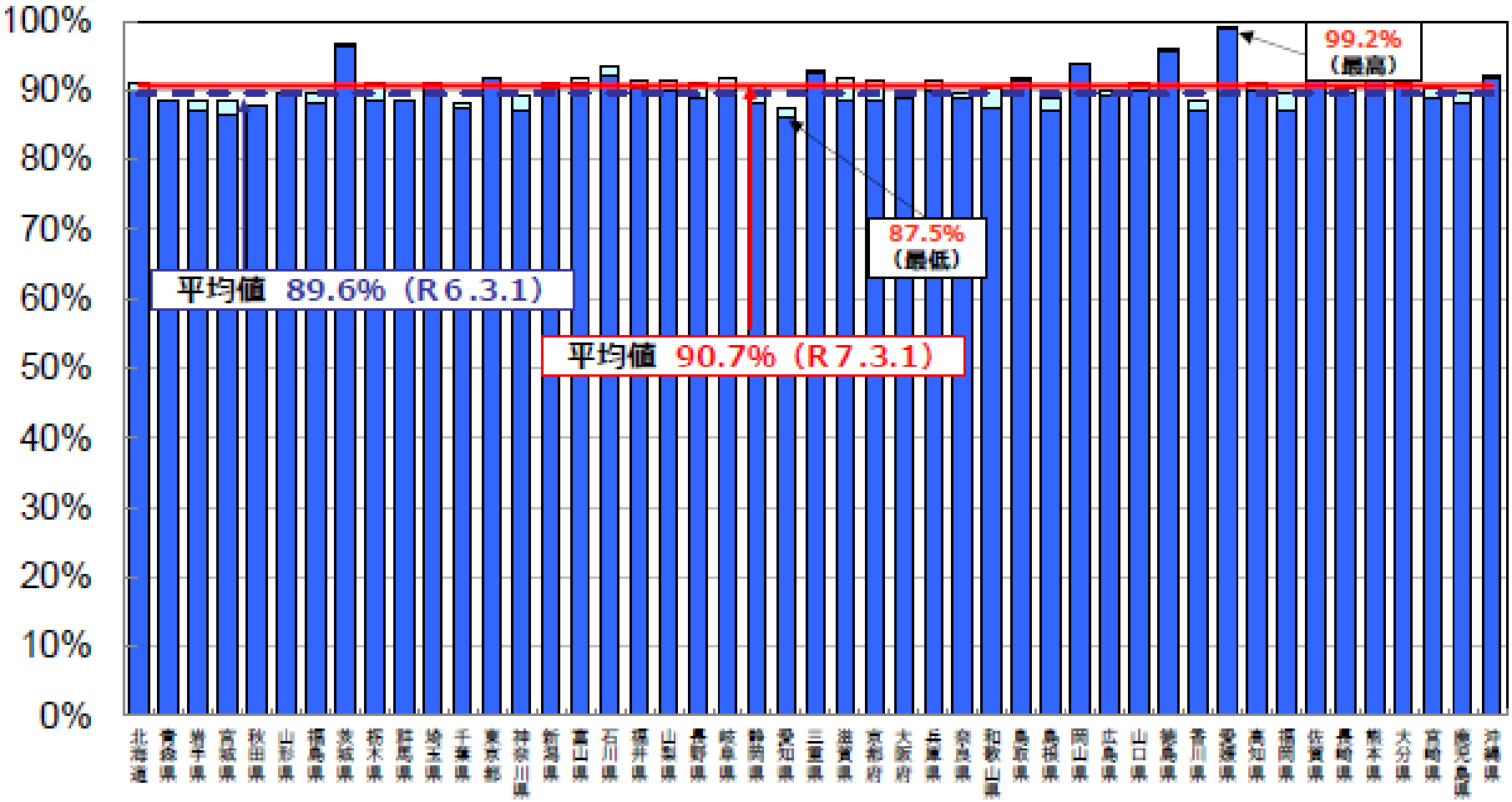
A	**教材研究・指導の準備・評価・校務などにＩＣＴを活用する能力**
A１	教育効果を上げるために，コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用する。
A２	授業で使う教材や校務分掌に必要な資料などを集めたり，保護者・地域との連携に必要な情報を発信したりするためにインターネットなどを活用する。
A３	授業に必要なプリントや提示資料，学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成するためにワープロソフト，表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。
A４	学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し，評価に活用する。
B	**授業にＩＣＴを活用して指導する能力**
B１	児童生徒の興味・関心を高めたり，課題を明確につかませたり，学習内容を的確にまとめさせたりするために，コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。
B２	児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり，比較検討させたりするために，コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。
B３	知識の定着や技能の習熟をねらいとして，学習用ソフトウェアなどを活用して，繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませる。
B４	グループで話し合って考えをまとめたり，協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に，コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。
C	**児童生徒のＩＣＴ活用を指導する能力**
C１	学習活動に必要な，コンピュータなどの基本的な操作技能（文字入力やファイル操作など）を児童生徒が身に付けることができるように指導する。
C２	児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して，情報を収集したり，目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導する。
C３	児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して，調べたことや自分の考えを整理したり，文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。
C４	児童生徒が互いの考えを交換し共有して話合いなどができるように，コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。
D	**情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力**
D１	児童生徒が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち，相手のことを考え，自他の権利を尊重して，ルールやマナーを守って情報を集めたり発信したりできるように指導する。
D２	児童生徒がインターネットなどを利用する際に，反社会的な行為や違法な行為，ネット犯罪などの危険を適切に回避したり，健康面に留意して適切に利用したりできるように指導する。
D３	児童生徒が情報セキュリティの基本的な知識を身に付け，パスワードを適切に設定・管理するなど，コンピュータやインターネットを安全に利用できるように指導する。
D４	児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気付き，学習に活用したり，その仕組みを理解したりしようとする意欲が育まれるように指導する。

文部科学省「令和６年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）」（速報値）

教員のICT活用指導力について

①大項目A　教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力

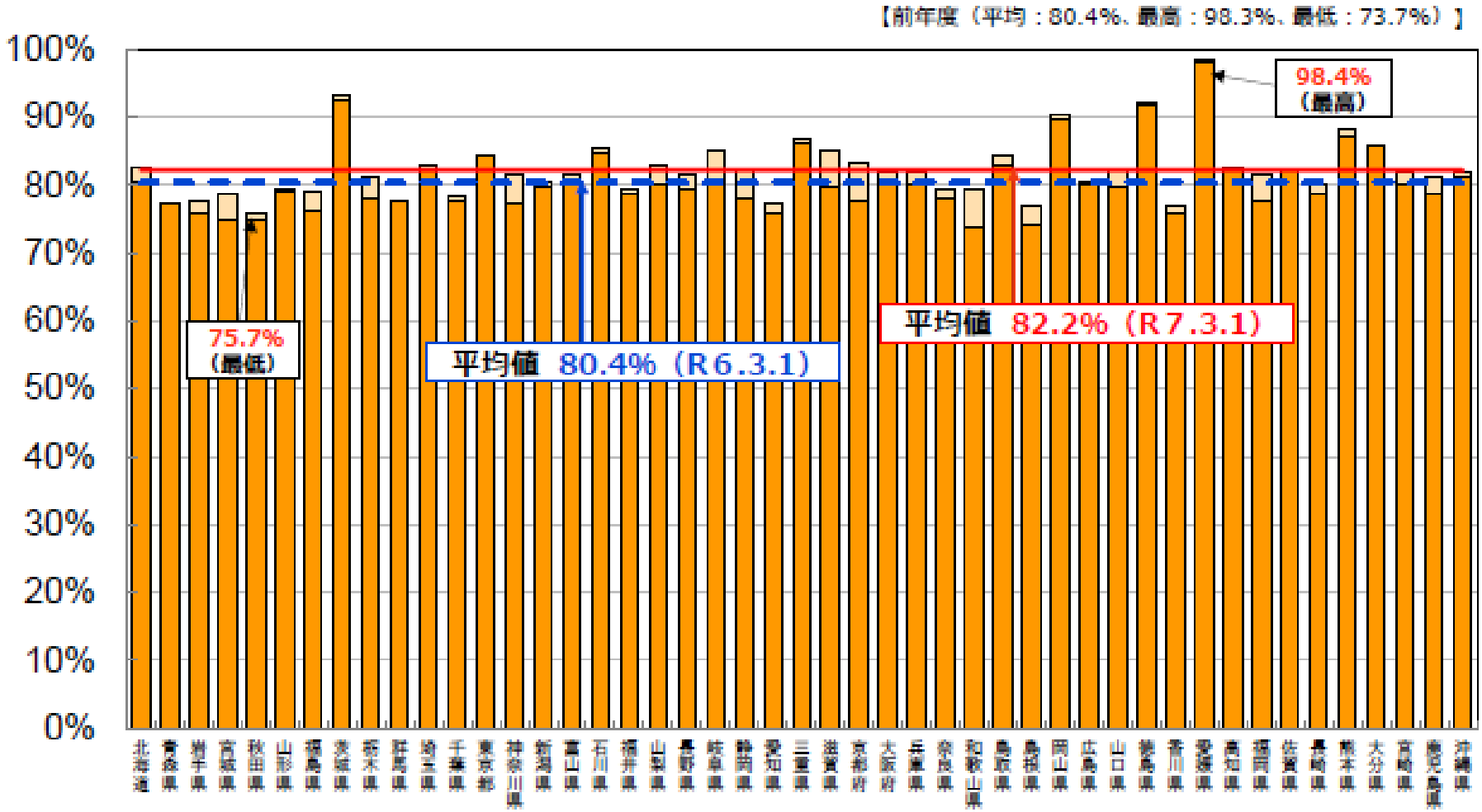
【前年度（平均：89.6%、最高：99.0%、最低：86.2%）】



文部科学省「令和６年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）」（速報値）

教員のICT活用指導力について

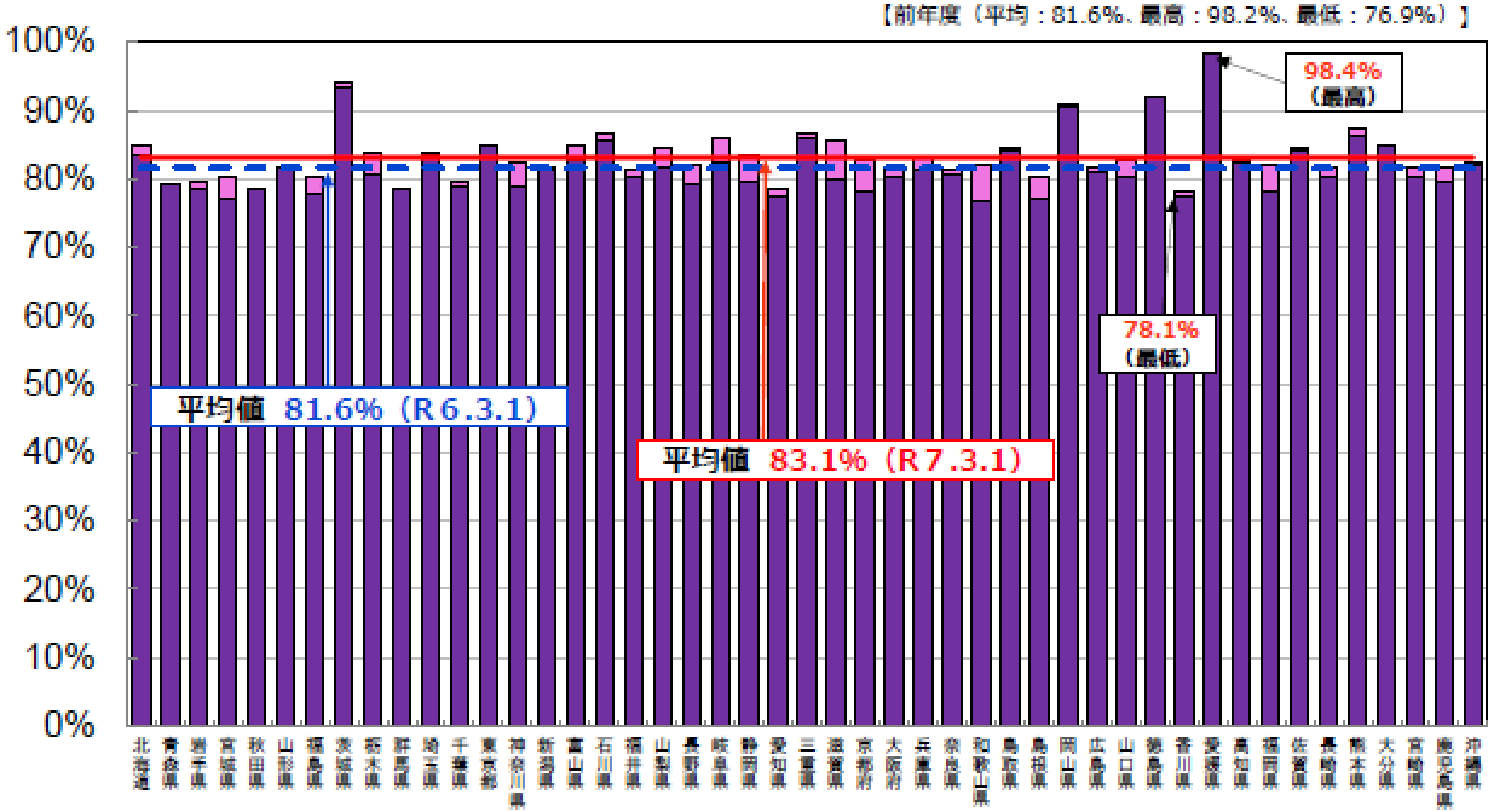
②大項目B　授業にICTを活用して指導する能力



文部科学省「令和６年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）」（速報値）

教員のICT活用指導力について

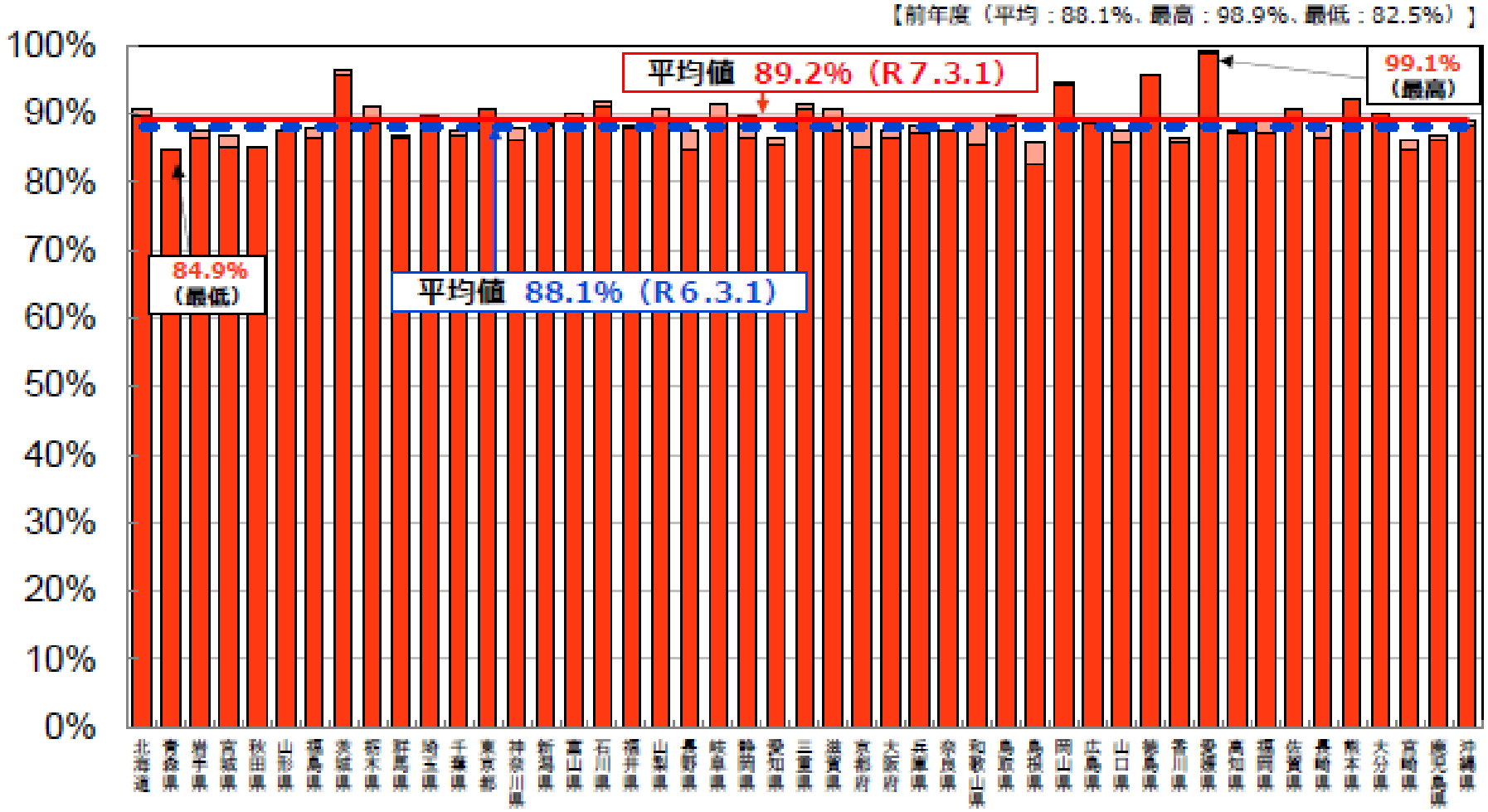
③大項目C　児童生徒のICT活用を指導する能力



文部科学省「令和６年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）」（速報値）

教員のICT活用指導力について

④大項目D　情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力



文部科学省「令和6年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）」（速報値）

教員のICT活用指導力について

大項目A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力

順位	都道府県名	%
1	愛媛県	99.2%
2	茨城県	96.6%
3	徳島県	96.1%
4	岡山県	94.0%
5	熊本県	93.8%
6	石川県	93.4%
7	三重県	92.7%
8	沖縄県	92.2%
9	群馬県	91.9%
10	鳥取県	91.8%
11	滋賀県	91.7%
12	東京都	91.6%
12	富山県	91.6%
14	山梨県	91.5%
15	福井県	91.4%
15	大分県	91.4%
17	京都府	91.3%
17	兵庫県	91.3%
17	佐賀県	91.3%
20	北海道	91.2%
21	新潟県	91.1%
21	長野県	91.1%
23	栃木県	91.0%
23	埼玉県	91.0%
23	山口県	91.0%
26	宮城県	90.9%
27	静岡県	90.6%
28	和歌山県	90.5%
29	長崎県	90.3%
30	宮崎県	90.2%
31	広島県	89.9%
32	岐阜県	89.8%
33	山形県	89.7%
33	大阪府	89.7%
33	鹿児島県	89.7%
36	福島県	89.6%
36	福岡県	89.6%
38	神奈川県	89.2%
39	島根県	89.0%
40	宮城県	88.7%
40	群馬県	88.7%
42	岩手県	88.6%
42	香川県	88.6%
44	愛知県	88.4%
45	千葉県	88.3%
46	秋田県	88.0%
47	愛知県	87.5%
	平均	90.7%

大項目B 授業にICTを活用して指導する能力

順位	都道府県名	%
1	愛媛県	98.4%
2	茨城県	93.1%
3	徳島県	92.2%
4	岡山県	90.5%
5	熊本県	88.3%
6	三重県	86.9%
7	大分県	85.9%
8	石川県	85.6%
9	群馬県	85.0%
9	滋賀県	85.0%
11	東京都	84.4%
12	鳥取県	84.2%
13	京都府	83.2%
14	山梨県	83.1%
15	埼玉県	82.9%
16	北海道	82.7%
17	奈良県	82.6%
18	静岡県	82.4%
18	山口県	82.4%
20	佐賀県	82.1%
21	大阪府	82.0%
21	沖縄県	82.0%
23	兵庫県	81.9%
23	宮崎県	81.9%
25	長野県	81.7%
26	神奈川県	81.5%
26	福岡県	81.5%
28	富山県	81.4%
29	栃木県	81.3%
29	鹿児島県	81.3%
31	広島県	80.6%
32	新潟県	80.5%
33	長崎県	80.2%
34	福井県	79.6%
34	岐阜県	79.6%
34	和歌山県	79.6%
37	山形県	79.3%
38	福島県	79.0%
39	宮城県	78.8%
40	千葉県	78.2%
41	埼玉県	77.8%
42	群馬県	77.7%
43	青森県	77.4%
43	愛知県	77.4%
45	香川県	77.1%
46	島根県	76.8%
47	秋田県	75.7%
	平均	82.2%

大項目C 児童生徒のICT活用を指導する能力

順位	都道府県名	%
1	愛媛県	98.4%
2	茨城県	94.0%
3	徳島県	92.1%
4	岡山県	90.8%
5	熊本県	87.2%
6	石川県	86.7%
7	三重県	86.6%
8	群馬県	85.8%
9	滋賀県	85.6%
10	北海道	84.9%
10	東京都	84.9%
10	大分県	84.9%
13	富山県	84.8%
14	鳥取県	84.5%
14	佐賀県	84.5%
16	山梨県	84.4%
17	栃木県	83.9%
18	埼玉県	83.8%
19	静岡県	83.5%
20	兵庫県	83.0%
21	京都府	82.9%
22	山口県	82.8%
23	宮城県	82.7%
24	沖縄県	82.5%
25	神奈川県	82.4%
26	長野県	82.2%
27	和歌山県	81.9%
27	福岡県	81.9%
29	広島県	81.7%
29	鹿児島県	81.7%
31	山形県	81.6%
31	新潟県	81.6%
31	長崎県	81.6%
31	宮崎県	81.6%
35	福井県	81.5%
36	大阪府	81.2%
36	岐阜県	81.2%
38	福島県	80.4%
39	島根県	80.2%
40	宮城県	80.1%
41	埼玉県	79.6%
41	千葉県	79.6%
43	青森県	79.1%
44	群馬県	78.6%
44	愛知県	78.6%
46	秋田県	78.4%
47	香川県	78.1%
	平均	83.1%

大項目D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力

順位	都道府県名	%
1	愛媛県	99.1%
2	茨城県	96.3%
3	徳島県	95.6%
4	岡山県	94.6%
5	熊本県	92.3%
6	石川県	91.7%
7	三重県	91.5%
8	群馬県	91.3%
9	栃木県	91.1%
10	山梨県	90.7%
10	滋賀県	90.7%
10	佐賀県	90.7%
13	北海道	90.6%
13	東京都	90.6%
15	富山県	90.0%
15	大分県	90.0%
17	静岡県	89.7%
17	鳥取県	89.7%
19	埼玉県	89.6%
20	広島県	89.2%
20	福岡県	89.2%
22	和歌山県	89.0%
22	沖縄県	89.0%
24	京都府	88.9%
25	新潟県	88.6%
26	福井県	88.3%
26	兵庫県	88.3%
28	長崎県	88.2%
29	神奈川県	88.0%
30	福島県	87.9%
31	山形県	87.7%
31	岐阜県	87.7%
33	長野県	87.6%
33	宮城県	87.6%
35	千葉県	87.5%
35	大阪府	87.5%
35	山口県	87.5%
38	岩手県	87.4%
39	鹿児島県	87.0%
40	宮城県	86.9%
40	群馬県	86.9%
42	香川県	86.5%
43	愛知県	86.4%
44	宮崎県	86.3%
45	島根県	85.8%
46	秋田県	85.1%
47	青森県	84.9%
	平均	89.2%

文部科学省「令和６年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）」（速報値）

授業でのPC・タブレットなどのICT機器の使用状況

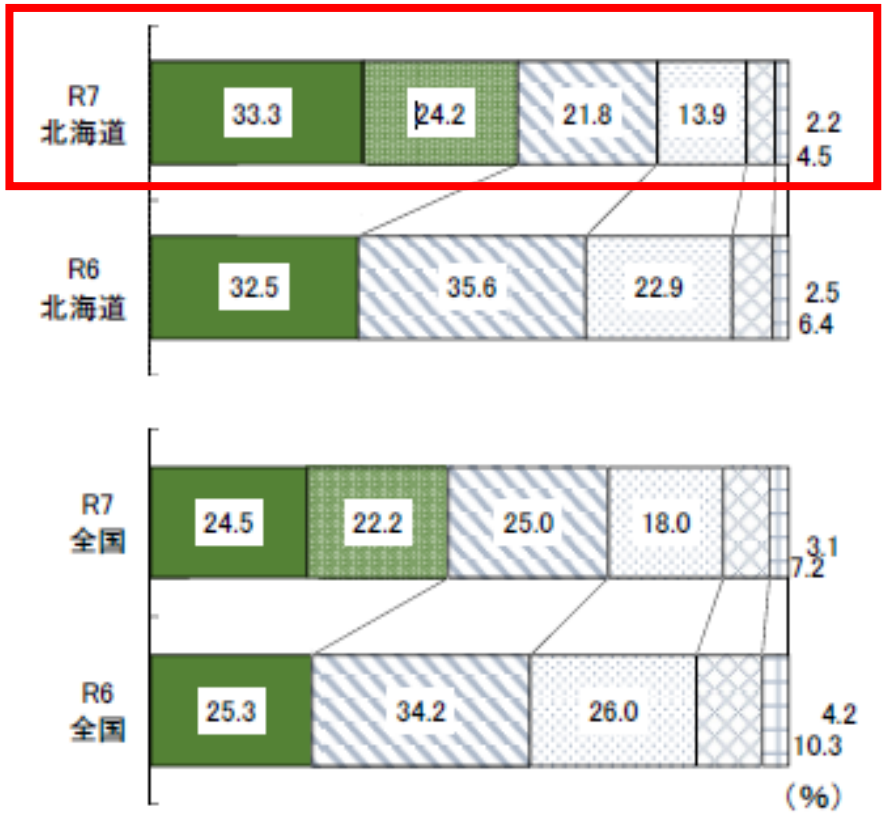
令和7年度全国学力・学習状況調査（北海道） 児童生徒質問調査

「前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」

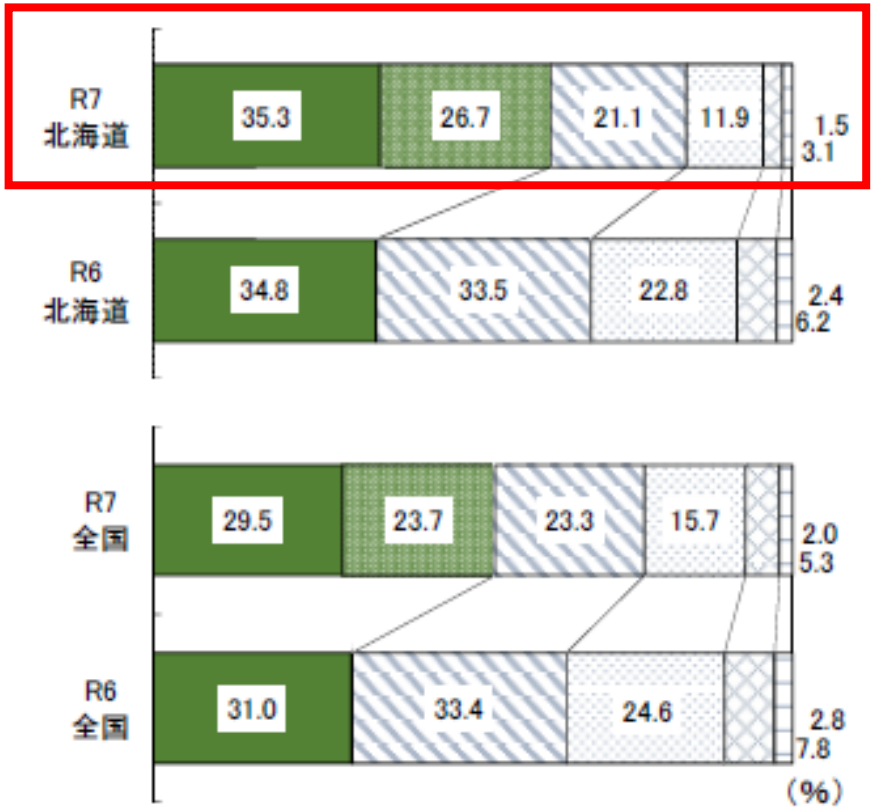
R7選択肢 ■1. ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用） □2. ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業） □3. 週3回以上 □4. 週1回以上 □5. 月1回以上 □6. 月1回未満

R6選択肢 ■1. ほぼ毎日 □2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 □5. 月1回未満

〈小学校〉



〈中学校〉

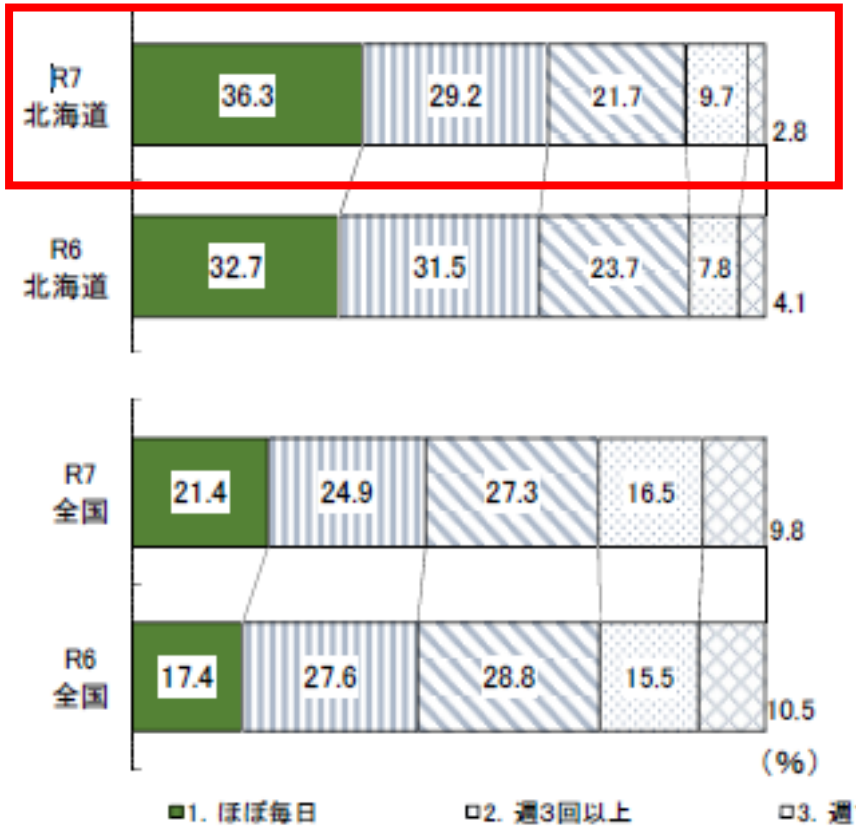


授業でのPC・タブレットなどのICT機器の使用状況

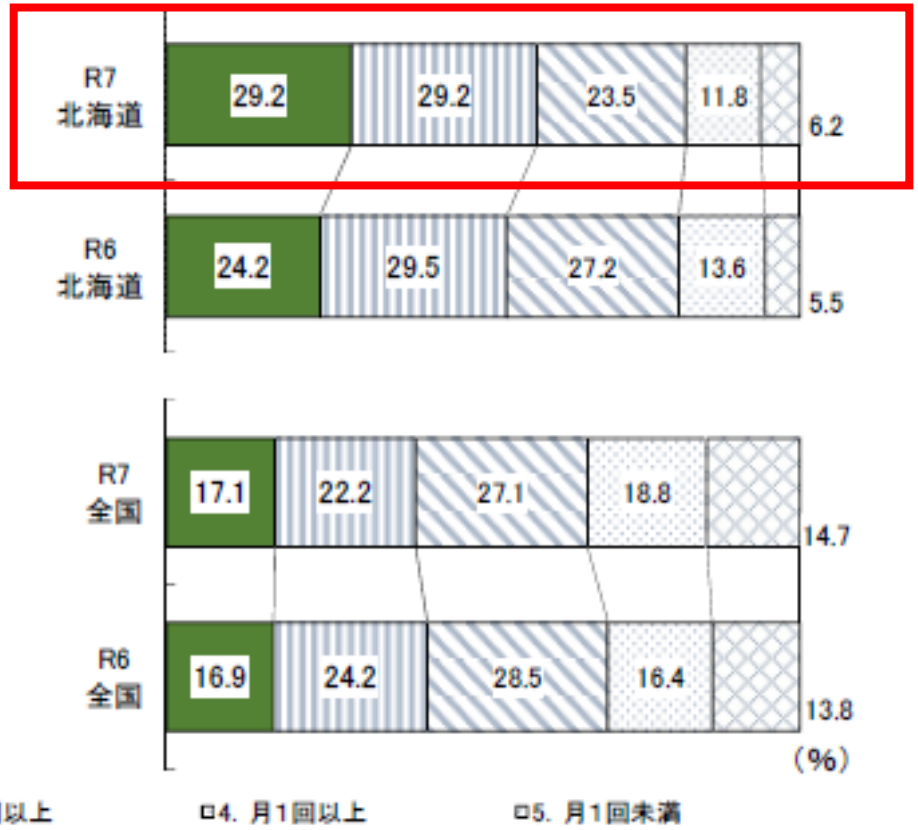
令和7年度全国学力・学習状況調査（北海道） 学校質問調査

「調査対象学年の児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか」

〈小学校〉



〈中学校〉

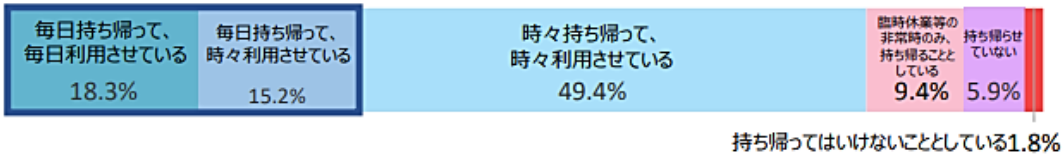


教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化

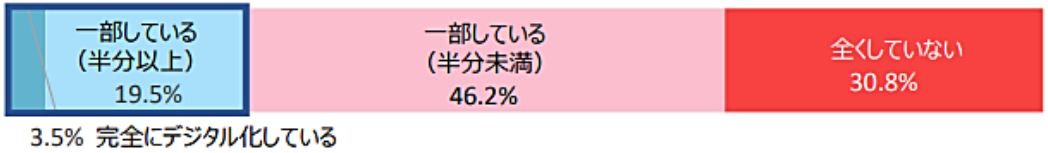
① 児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか

② クラウドサービス等を活用し、授業中の小テスト等にCBTを取り入れていますか

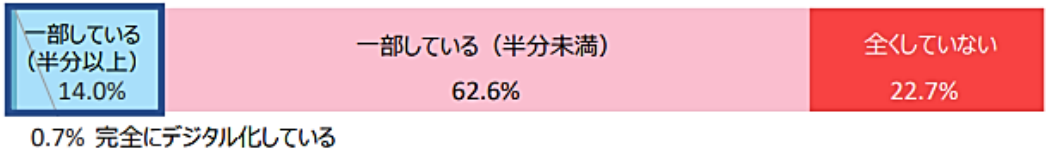
③ 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか



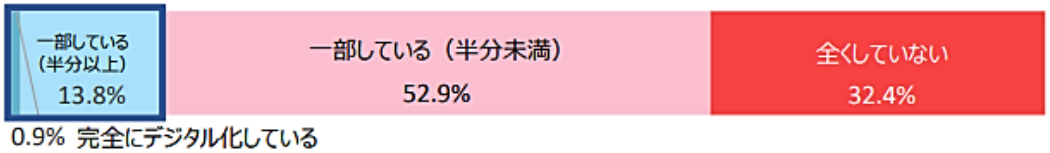
④ 児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか



⑤ 宿題（学期中のもの）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか



⑥ 宿題（長期休暇中）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか



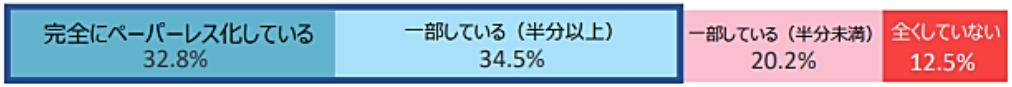
⑦ クラウドサービス等を活用し、定期テストにCBTを取り入れていますか

学校内の連絡のデジタル化

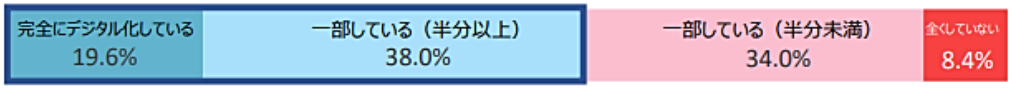
① 教員は校務用の個人メールアドレスが附与されていますか

② 職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか

③ 職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか



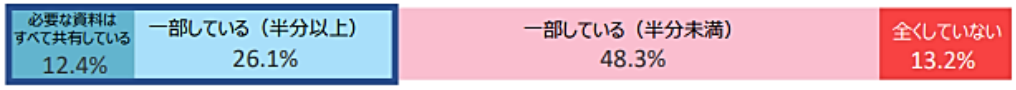
④ 教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか



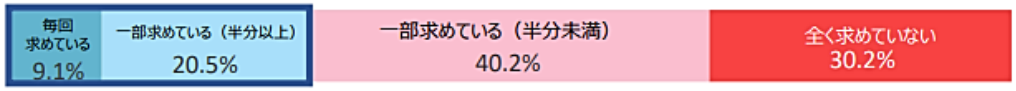
⑤ 校内研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか

⑥ 授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか

⑦ 教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか

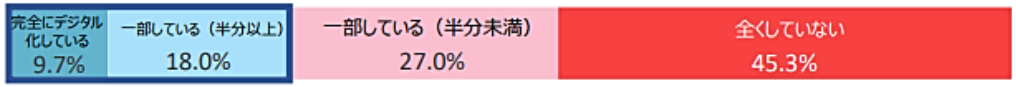


⑧ 職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか



⑨ 長期休暇期間（夏休み等）の教職員の動静調査をクラウドサービスを用いて実施・管理していますか

⑩ 校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか



GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト ～学校・教育委員会の自己点検結果～ 〔確定値〕 令和６年３月２９日

単なる文房具ではなく強力な文房具

【机上に端末を置いて、いつでも使える】

教師が端末操作を指示する場面もありますが、
それに留まらず、**児童生徒が自ら学ぶツールとして活用する場面**も想定されます。

・教師の説明の中で理解できなかった用語を端末を使って調べる。
・教師が示した資料の中で、興味を持った部分を端末を使って調べる。
・教師が示したグラフの動きを、端末で繰り返し再生して確認する。　　など

端末の活用を「当たり前」のこととし、生徒自身がICTを自由な発想で活用できる授業をデザインしていく

「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料（令和3年3月版）」文部科学省

教科の学びを深める

情報活用能力を育成する

小学校編　中学校編　高等学校編　[ダイジェスト版] 小中学校編　特別支援教育編

ICTを活用するのは先生？児童生徒？

ICT活用授業指針「Society5.0に向けて」　北海道教育委員会

学びの主体は児童生徒

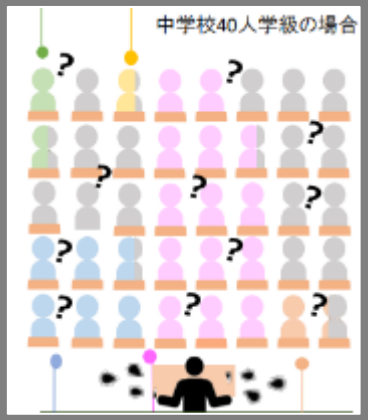
ICT活用例	主な内容	教員PC	生徒PC
資料投影	・教員端末からプロジェクタへ投影	○	×
	・教員端末から生徒端末へ画面配信（Meet等） ・プロジェクタ投影＋生徒端末で資料参照	○	○
資料配信	・Classroom等で資料や連絡を配信	△	○
振り返り	・フォームで振り返りアンケート、小テスト	△	○
協働学習	・ホワイトボードアプリ等で話し合い ・スプレッドシートを共有して同時編集（入力）	△	○
上記複合	・学習場面により使い分け		

教師がICTが苦手でも生徒の力を借りて

端末の日常活用の「その先」（イメージ）

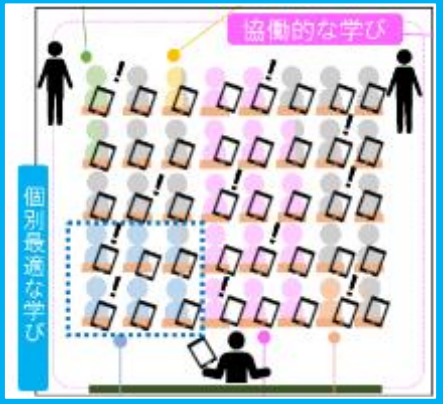
すべての子供たちの可能性を最大限引き出すことを目指し、子供の認知の特性を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「そろえる」教育から「伸ばす」教育へ転換し、子供一人ひとりの多様な幸せ（well-being）を実現

子どもたちが多様化する中での紙ベースの一斉授業



教師による一斉授業 一定のレベルを想定した質の高い授業展開	主体	**子供主体の学び** 子供の理解度や認知の特性に応じて自分のペースで学ぶ
同一学年で 同一学年で構成され該当学年の学び	学校種 学年	**学年に関係なく** 学年・学校種を超える学びや学年を遡った学びも
同じ教室で 集団行動が基本となる教室で	空間	**教室以外の選択肢** 教室になじめない子供が教室以外の空間でも
教科ごと 教科担任制のもと教科ごとの指導	教科	**教科等横断・探究・STEAM** 教科の本質の学びとともに、教科の枠組みを超えた実社会に活きる学びを
Teaching 指導書のとおり計画を立て教える授業	教師	**Coaching** 子供の主体的な学びの伴走者へ
同質・均質な集団 教員養成学部等を卒業し、定年まで勤めることが基本 万能を求められる教師	教職員 組織	**多様な人材・協働体制** 多様な教職員集団 理数、発達障害、ICT、キャリアなど専門性を活かした協働体制

多様な子どもたちに対してICTも活用し　個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実



（出所）Society 5.0の実現に向けた 教育・人材育成に関する政策パッケージ 総合科学技術・イノベーション会議

3　北海道教育委員会の取組について

北海道教育推進計画

施策の柱２　学びの機会を保障し質を高める環境の確保

施策項目 13　ICT の活用推進

施策の方向性 ～10 年後を見据えて～

○ 学習指導要領において、「学習の基盤となる資質・能力」の一つに位置付けられた情報活用能力の育成に向けて、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図り、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの充実を図ります。

○ 各教員が教科等の指導において効果的に ICT を活用し、学習指導要領が求める「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、個別的な学びと協働的な学びを一体的に充実した授業に関する指導助言や必要となる研修を実施するなどにより、教員の ICT 活用指導力の向上を図ります。

○ 各学校が、校長のリーダーシップの下、組織的に ICT 活用を展開できるよう、校内における推進体制や教育課程における ICT 活用の位置付け、計画的な研修計画などについて明らかにし、学校が一体となった取組の充実を図ります。

○ GIGA スクール構想によって整備された ICT 環境が適切に運営・管理されるよう、各校における ICT 環境整備の点検を徹底するとともに、児童生徒が教室等のあらゆる場所において端末を有効に活用して学ぶことができるよう、関係者と緊密に連携して、学校外においても端末を安全・安心に利用することができる環境を整え、学校での対面授業とオンライン学習のハイブリッド型の学びのサイクルの構築に取り組みます。

ICT の活用推進により目指す姿

GIGA スクール構想
１人１台端末、高速ネットワークの活用

主な取組
・児童生徒の情報活用能力の育成に資する実践の普及・開発
・教員の ICT の効果的な活用に向けた取組の充実
・情報通信技術支援員等外部人材による教員の ICT 活用の支援　など

学習指導要領が求める学び
○主体的・対話的で深い学びの実現
○協働的な学びと個別最適な学びを一体的に充実した授業

児童・教員（情報活用能力等）の育成

主な取組

○ **児童生徒の情報活用能力の育成に資する実践の普及・開発**
- 各学校における取組の参考となる資料の作成
- 学校における先進事例を収集し各学校に普及
- 児童生徒や教職員、保護者を対象とした情報モラルに関する指導資料を作成・周知し情報モラル教育を充実

関連する主な SDGs の目標

○ **教員の ICT の効果的な活用に向けた取組の充実**
- ICT の活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、各教研究会や学校訪問等における指導助言の充実
- 今日的に求められる ICT 活用を踏まえ、各地域や学校における、子どもの経済状況等の状況に応じた ICT 活用研修の充実
- 効率的な研修の実施に向け、校内研修等で活用できる動画等の研修資料の提供
- 遠隔地との交流や国際交流等の ICT を活用した体験活動の充実

○ **情報通信技術支援員（ICT 支援員）*等外部人材による教員の ICT 活用の支援**
- それぞれの地域での外部人材の確保や ICT の活用を支援できる学校職員の育成に向けた、ICT 活用研修の実施
- 外部人材によるサポートの充実に向けた、校内のマネジメントの促進

○ **感染症や災害発生時などにおける教育活動の継続に向けた支援**
- 平常時における ICT を活用した学びの保障に係る好事例の収集と発信
- 通信環境が整っていない家庭に対するルータの貸与など、平常時における家庭での ICT を活用した学びを支援

○ **学習者用デジタル教科書の効果的な活用**
- 道内におけるデジタル教科書を用いた好事例の収集と発信により、デジタル教科書の活用を促進

【推進指標】

指　標	現状値	目標値(R9)
児童生徒一人一人に配備された ICT 機器を活用した授業が行われた学校の割合	小 69.9%, 中 63.7%（R4）	100%
授業に ICT を活用して指導することができる教員の割合	91.1%（R3）	100%
情報活用の基盤となる知識や態度について指導することができる教員の割合	96.1%（R3）	100%

担当課 HP

●カリキュラム・マネジメント
学校教育目標の実現を図るために、教育内容の組織的な改善・改善を通じて、教育課程の不断の見直しを行うこと。教育課程の実施による成果や効果を検証するとともにその必要な改善を図っていくこと。教育課程に基づく学習指導の一つ一つの授業の質の向上を図っていくこと。

●GIGA スクール構想
2019（令和元）年 12 月に文部科学省は、「１人１台端末」と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、学校でも家庭や地域でも、子どもの学び、教師による教育実践や校務の在り方を大きく変えるとされた。また、「これまでの学び方・教え方の延長線上にない学びのスタイル」。

●情報通信技術支援員（ICT 支援員）
情報活用能力育成に資する授業支援、校務支援、機器整備支援、校内研修支援などに従事し、学校教育の高度情報化に対応する人材。

北海道教育推進計画

施策の柱２　学びの機会を保障し質を高める環境の確立

施策項目 13　ICT の活用推進

施策の方向性 ～10 年後を見据えて～

○　学習指導要領において、「学習の基盤となる資質・能力」の一つに位置付けられた情報活用能力の育成に向けて、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図り、各学校におけるカリキュラム・マネジメント*の充実を図ります。

○　各教員が教科等の指導において効果的に ICT を活用し、学習指導要領が求める「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、協働的な学びと個別最適な学びを一体的に充実した授業に関する指導助言や必要となる研修を実施するなどにより、教員の ICT 活用指導力の向上を図ります。

○　各学校が、校長のリーダーシップの下、組織的に ICT 活用を展開できるよう、校内における推進体制や教育課程における ICT 活用の位置付け、計画的な研修計画などについて明らかにし、学校が一体となった取組の充実を図ります。

○　GIGA スクール構想*によって整備された ICT 環境が適切に維持・管理されるよう、自校における ICT 環境整備の方針を明確にするとともに、児童生徒が家庭等のあらゆる場所において端末を有効に活用して学ぶことができるよう、関係者と緊密に連携して、学校外においても端末を安全・安心に利用することができる環境を整え、学校での対面授業とオンライン学習のハイブリッド型の学びのサイクルの構築に取り組みます。

主な取組

○　**児童生徒の情報活用能力の育成に資する実践の普及・啓発**
- 各学校における取組の参考となる資料の作成
- 学校における先進事例を収集し各学校に普及
- 児童生徒や教職員、保護者を対象とした情報モラルに関する指導資料を作成・周知し情報モラル教育を充実

○　**教員の ICT の効果的な活用に向けた取組の充実**
- ICT の活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、各種研究会や学校訪問等における指導助言の充実
- 今日的に求められる ICT 活用を踏まえ、各地域や学校における、子どもの発達段階等の状況に応じた ICT 活用研修の充実
- 効率的な研修の実施に向け、校内研修等で活用できる動画等の研修資料の提供
- 遠隔地との交流や国際交流等の ICT を活用した体験活動の充実

○　**情報通信技術支援員（ICT 支援員）*等外部人材による教員の ICT 活用の支援**
- それぞれの地域での外部人材の確保や ICT の活用を支援できる学校職員の育成に向けた、ICT 活用研修の実施
- 外部人材によるサポートの充実に向けた、校内のマネジメントの促進

○　**感染症や災害発生時などにおける教育活動の継続に向けた支援**
- 非常時における ICT を活用した学びの保障に係る好事例の収集と発信
- 通信環境が整っていない家庭に対するルータの貸与など、非常時における家庭での ICT を活用した学びを支援

○　**学習者用デジタル教科書の効果的な活用**
- 道内におけるデジタル教科書を用いた好事例の収集と発信により、デジタル教科書の活用を促進

【推進指標】

指　標	現状値	目標値(R9)
児童生徒一人一人に配備された ICT 機器を活用した授業が行われた学校の割合	小 69.9%,中 63.7%（R4）	100%
授業に ICT を活用して指導することができる教員の割合	91.1%　（R3）	100%
情報活用の基盤となる知識や態度について指導することができる教員の割合	96.1%　（R3）	100%

北海道学校教育情報化推進計画

本道の学校教育の情報化に関する基本的な方針

（１）北海道として重点的に推進する方針

Ⅰ　小学校から高等学校まで12年間を見通した児童生徒の学習の基盤となる資質・能力の育成

・情報活用能力の育成のため、小・中、中・高の学校種間で円滑な接続を図り、小学校から高等学校までの12年間を見通してICTを活用した授業改善等の取組を一体的に推進し、ICTをこれまでの実践と最適に組み合わせて有効に活用して教育の質を向上させることが必要

Ⅱ　本道の広域分散型の特徴を踏まえた遠隔授業・オンライン研修の推進による教育の質の向上

・本道の広域分散型の特徴を踏まえ、どの地域に住んでいても、児童生徒の学習ニーズに対応した質の高い教育を受けることができるよう、義務教育段階から高等学校段階におけるICTを活用した遠隔教育の取組を推進

・教員が、子どもと向き合う時間を確保しつつ、主体的に学び続け、自らの資質・能力の向上に取り組むことができるよう、オンライン研修を推進

・感染症や雪害等の臨時休業時等において、やむを得ず学校に登校できない児童生徒の学びの保障のためオンライン学習を推進

（２）基本的な方針

①　ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成

・ICTをこれまでの実践と最適に組み合わせて有効に活用して教育の質を向上させ、子どもたちの情報活用能力の育成を図ることが必要

・ICTを活用した授業や、家庭での学びを授業に結び付ける新しい学習サイクルを充実させ、教員が教え込む授業から児童生徒が主体的に学ぶ授業に転換する必要

・端末の重さによる児童生徒の身体への負担も増えることから、発達の段階に応じて、携行品の重さや量に配慮することも必要

②　教員のICT活用指導力の向上と人材の確保

・授業における１人１台端末の適切な活用が確実に実践されるよう、「ICT活用授業指針」を普及させることが必要

・教員養成段階でのICTを用いた指導方法等の充実が必要

・外部人材（ICT支援員等）を効果的に活用するとともに、民間事業者も含む組織的な支援体制の強化や、各学校が連携するための仕組みの整備などの支援体制を整備していくことが必要

③　ICTを活用するための環境の整備

・十分な通信環境を確保するとともに、専門家によるアセスメントなどにより、ICTの活用の阻害となる要因を特定、対応が必要

・授業の質を高める教室環境について高度化を進める必要

・デジタル教科書の円滑かつ効果的な活用のための環境面及び指導面の課題の対応等、学校現場での活用を推進

④　ICT推進体制の整備と校務の改善

・校務を効率化し、事務作業時間の削減を図るため、クラウドサービスやデジタル教材を活用した授業の実施など、ICTを積極的に活用した業務等の推進が必要

・教育委員会や校長が責任をもって教職員を支援する体制を築き、チームとしてGIGAスクール構想を推進することが必要

北海道教育委員会　ICT活用授業指針

指針策定の趣旨

　各学校におけるこれまでの教育実践の蓄積を生かしつつ、現状の課題を克服し、これからの時代のスタンダードとして、授業における１人１台端末の適切な活用が、全道の小・中学校、高等学校、特別支援学校等において確実に実践されるよう、ICTを活用した授業の目指す姿と、その実現に向けた具体的方策を示すこととしました。

北海道教育委員会　ICT活用授業指針

ICT活用授業の目指す姿

1　適切な情報活用能力の育成

2　身近な道具の一つとしてのICT機器

3　学びの質を高めるためのICT活用

4　個別最適化された教育の実践

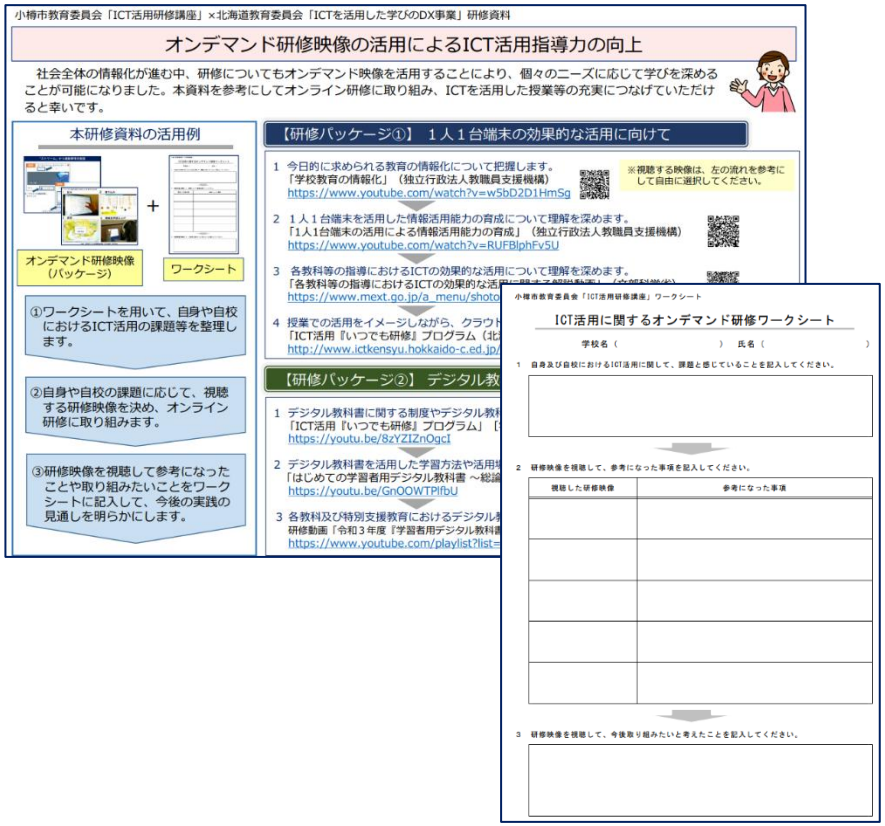
5　子どもの障がいの状況や特性に応じたICT活用

6　教員の業務負担軽減と子どもに向き合う時間の確保

教員のICT活用指導力の向上

○　ICTを活用した学びのDX事業

学校等の要望に応じた研修支援や情報交換、資料の提供



小樽市教育委員会「ICT活用研修講座」×北海道教育委員会「ICTを活用した学びのDX事業」研修資料

オンデマンド研修映像の活用によるICT活用指導力の向上

社会全体の情報化が進む中、研修についてもオンデマンド映像を活用することにより、個々のニーズに応じて学びを深めることが可能になりました。本資料を参考にしてオンライン研修に取り組み、ICTを活用した授業等の充実につなげていただけると幸いです。

本研修資料の活用例

オンデマンド研修映像（パッケージ）＋ ワークシート

①ワークシートを用いて、自身や自校におけるICT活用の課題等を整理します。

②自身や自校の課題に応じて、視聴する研修映像を決め、オンライン研修に取り組みます。

③研修映像を視聴して参考になったことや取り組みたいことをワークシートに記入して、今後の実践の見通しを明らかにします。

【研修パッケージ①】 １人１台端末の効果的な活用に向けて

1 今日的に求められる教育の情報化について把握します。
「学校教育の情報化」（独立行政法人教職員支援機構）
https://www.youtube.com/watch?v=w5bD2D1HmSg

2 １人１台端末を活用した情報活用能力の育成について理解を深めます。
「1人1台端末の活用による情報活用能力の育成」（独立行政法人教職員支援機構）
https://www.youtube.com/watch?v=RUFBlphFv5U

3 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について理解を深めます。
「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する解説動画」（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shoto

4 授業での活用をイメージしながら、クラウド
「ICT活用『いつでも研修』プログラム（北
http://www.ictkensyu.hokkaido-c.ed.jp/

※視聴する映像は、左の流れを参考にして自由に選択してください。

【研修パッケージ②】 デジタル教

1 デジタル教科書に関する制度やデジタル教科
「ICT活用『いつでも研修』プログラム」（
https://youtu.be/8zYZIZnOgcI

2 デジタル教科書を活用した学習方法や活用事
「はじめての学習者用デジタル教科書 ～総論
https://youtu.be/GnOOWTPlfbU

3 各教科及び特別支援教育におけるデジタル教
研修動画「令和３年度『学習者用デジタル教科書
https://www.youtube.com/playlist?list=

小樽市教育委員会「ICT活用研修講座」ワークシート

ICT活用に関するオンデマンド研修ワークシート

学校名（　　）　氏名（　　）

1 自身及び自校におけるICT活用に関して、課題と感じていることを記入してください。

2 研修映像を視聴して、参考になった事項を記入してください。

視聴した研修映像	参考になった事項

3 研修映像を視聴して、今後取り組みたいと考えたことを記入してください。

管理職や担当者と協働しながら
校内研修などを支援

学校等の状況や要望に応じて
好事例や研修資料を提供

令和7年(2025年)4月3日付け教ICT第9号通知

学校におけるICT活用の推進について（通知）

教ＩＣＴ第　９　号
令和７年（2025年）４月３日

各教育局長
各道立学校長
各市町村教育委員会教育長（法人設置を除く。）
（各市町村立学校長）　様

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課長　多田博昭
北海道教育庁学校教育局高校教育課長　髙田安利
北海道教育庁学校教育局義務教育課長　田口範人
北海道教育庁学校教育局特別支援教育課長　中嶋英崚

学校におけるICT活用の推進について（通知）

国のGIGAスクール構想の下、道教委においては、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る上で必要不可欠な学習基盤であるICT機器を学習活動等で積極的に活用するとともに、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、「ICT活用授業指針（令和２年８月）」を策定し、全ての学校において授業等での効果的なICT活用が図られるよう、各種研修や先進的実践事例の発信などに取り組んできたところです。

道内の学校では、教員の創意工夫により各教科等でICT機器を活用いただいているところですが、今後は、これまでの端末活用を促進するというフェーズから、端末活用により個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現するフェーズへと軸足を移していくことが求められます。

そのため、各学校においては、別添の参考資料を授業改善の参考とするなどして、教科の学びを深め、教科の学びの本質に迫る授業において１人１台端末と汎用的なクラウド等を積極的に活用し、児童生徒の資質・能力の育成を図っていただきますようお願いします。

また、令和の日本型学校教育を実現するためには、これらを支える基盤として校務の情報化を併せて進めることが重要であることから、各学校においては、ICT活用ポータルサイトや参考資料を活用し教育DXのイメージを共有するとともに、チェックリストを活用するなどして、校務DXの推進にも積極的に取り組んでいただきますようお願いします。

なお、市町村教育委員会においては、本通知を貴所管の学校に周知いただきますようお願いします。

記

○　ICT活用ポータルサイト（別添リーフレット）
ICTを活用した授業やICT活用に関する校内研修等を実施する際に参考となる資料を多数掲載していますので、積極的に活用願います。
https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/ict-portalsite.html

○　参考資料
・別添１「授業でのICT活用イメージ」
・別添２「ICTを活用した学習の段階的な導入」
・別添３「校務のDX化を進めた学校のイメージ」
・別添４「学校におけるDXチェックリスト」

国が示す方針を踏まえ、調査等で課題が見られる事項について、一層の取組を求める通知

- 授業におけるICT活用の推進
- 校務DXの推進
- ICT活用ポータルサイト
- 参考資料

学校におけるDXチェックリスト

令和7年4月
ＩＣＴ教育推進課

１人１台端末の活用		児童生徒が自分で調べる場面で１人１台端末を活用していますか。	□
		児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で１人１台端末を活用していますか。	□
		教職員と児童生徒がやりとりする場面で１人１台端末を活用していますか。	□
		児童生徒同士がやりとりする場面で１人１台端末を活用していますか。	□
		児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面で１人１台端末を活用していますか。	□
		希望する不登校児童生徒への授業配信を実施していますか。	□
		希望する児童生徒への１人１台端末を活用した教育相談を実施していますか。	□
校務活用	教員と保護者間	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、ＰＣ・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。	□
		業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービス等を用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか。	□
		保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	□
		保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。	□
		学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。	□
	教員と児童生徒間	児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか。	□
		児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	□
		宿題をクラウドサービスを用いて実施・採点していますか。	□
	学校内	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。	□
		職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。	□
		職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。	□
		校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。	□
		教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか。	□
		校内研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか。	□
		授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか。	□
		教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	□
		長期休暇期間（夏休み等）の教職員の勤務調査をクラウドサービスを用いて実施・管理していますか。	□

令和7年(2025年)4月3日付け教ICT第10号通知

GIGAスクール構想の下で整備された学校における１人１台端末等の活用について（通知）

教ＩＣＴ第　１０　号
令和７年（2025年）４月３日

各　教　育　局　長　様
各市町村教育委員会教育長（札幌市を除く。）

北海道教育庁 ICT 教育推進局 ICT 教育推進課長　多　田　博　昭

GIGA スクール構想の下で整備された学校における１人１台端末等の活用について（通知）

このことについて、各学校では GIGA スクール構想の下で整備された ICT 環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務のデジタル化等に取り組んでいただいているところですが、ICT の活用による教育活動の充実に当たっては、学校設置者と学校、保護者等が連携の上、ICT 環境や組織体制の整備、安全・安心な端末活用等を推進することなどが大切です。

つきましては、令和４年（2022 年）３月７日付け教 ICT 第1544 号通知「GIGA スクール構想の下で整備された１人１台端末等の ICT 環境の活用に関する方針について」等を踏まえ、特に次の事項に留意の上、１人１台端末等の ICT 環境を活用した教育活動を一層促進していただくようお願いいたします。

記

1　ICT 環境の整備について

・国の「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」等を踏まえ、各市町村で策定・公表した「１人１台端末の利活用に係る計画」に基づき、１人１台端末の利活用促進に取り組むこと。

・学校において児童生徒が１人１台端末を有効に活用することができるよう、授業を行う全教職員（栄養教諭などを含む）に指導者用端末を整備すること。

・整備された端末については、クラウド活用を前提として積極的に活用されるよう、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和７年３月）」に基づき、セキュリティポリシーを適切に定めること。

・何らかの原因により、ネットワークの十分な通信速度が確保できない場合には、「GIGA スクール構想支援体制整備事業」を積極的に活用し、保守事業者等の専門家によるアセスメントやネットワークの改善を実施するなど、課題の解消を図ること。

2　組織体制の整備について

・ICT を活用した学びを推進するためには学校現場を支える体制の構築が必要であり、国の「GIGA スクール構想支援体制整備事業」や学校の ICT 環境整備（指導者用端末、校務支援システム、ICT 支援員、教室の ICT 機器など）に係る地方財政措置を積極的に活用し、民間事業者を含む組織的な支援体制の強化を進めること。なお、今年度も引き続き「北海道 GIGA スクール推進協議会」を開催し、道内市町村間の広域連携を行い、北海道の学校教育の情報化に対する施策等を協議する予定であること。

・各学校の情報担当者が連携する仕組みを整備し、それぞれの学校の環境整備・活用の状況や課題の把握と、その対応策を整理・共有する機会を設けること。

・校内に ICT 機器が増えることで、操作の習得や ICT を活用した授業改善、機器の設置準備等、新たな業務が発生し、現状そうした業務を多くの教員が負担しており、こうした状況を解消する必要があることから、学校の ICT の専門家である ICT 支援員の配置の充実を図ること。

3　安全・安心な端末活用について

・ICT を活用した学びの幅を制限することなく、さらに、安心・安全が確保できるように機能制限やフィルタリングなどの手段を適切に講じること。

・ICT の活用により著作物の公衆送信（インターネットを介した送信等）を行うに当たり適用される授業目的公衆送信補償金制度などを活用し、著作物を利用するために必要な対応について検討すること。

4　持ち帰った ICT 端末等を活用した自宅等での学習について

・平常時から、持ち帰った ICT 端末等を活用した自宅等での学習を行うことは有効であることから、ICT 端末の持ち帰りを安全・安心に行える環境づくりに取り組むとともに、端末の管理の在り方や学習目的・内容を明確にして児童生徒・保護者と共有すること。

5　研修の実施について

・各教育委員会及び学校において、学習指導要領を踏まえた学習活動や、日常的に ICT を活用した学習活動を想定しつつ、ICT を活用した指導方法についての研修を充実すること。

国が示す方針を踏まえ、調査等で課題が見られる事項について、一層の取組を求める通知

1　ICT環境の整備

2　組織体制の整備

3　安全・安心な端末活用

4　持ち帰ったICT端末等を活用した自宅等での学習

5　研修の実施

令和7年度（2025年度）

ICT を活用した学びの DX 事業

□ 学校等の取組推進を支援します

学校における ICT の活用推進に向けて、次の研修や協議会を積極的に御活用ください。

	対象	内容
ICT 活用 管理職研修	・小・中・高・特の管理職 ・市町村教育委員会職員	学校での ICT 活用や生成 AI を活用する上での留意点など、情報セキュリティの視点からの講義等
ICT 活用推進 教員研修	・小・中学校、高等学校、特別支援学校で ICT 活用を推進している教諭	校内で ICT 活用を継続的に推進する上での留意点や方策等についての説明や協議
ICT 活用 全道協議会	・小・中・高・特の教諭 ・市町村教育委員会職員	ICT を活用した授業改善や校務 DX に関する情報や校種別部会別協議等
ICT 活用 管内協議会	・小・中・高・特の教諭 ・市町村教育委員会職員	管内の学校の ICT 活用の状況やニーズ等に応じた実践発表や協議等
Google Workspace for Education 活用操作研修	・小・中・高・特の教職員 ・市町村教育委員会職員	Google Workspace for Education を活用した課題の提示や共同編集機能等を活用した指導事例など、授業での活用に向けた操作体験
生成 AI 利活用 推進研修	・小・中・高・特の教職員 ・市町村教育委員会職員	概論編：生成AIの仕組みや活用に向けた準備等に関する説明 操作編：生成 AI の操作演習

＊研修日の１か月前を目途に実施要項を発出します。

□ 学校等の研修を支援します

市町村教育委員会や学校、任意団体等の研修において研修講師を行うなどの支援を行います。また、研修内容については、別添「ICT を活用した学びの DX 事業　市町村教育委員会及び学校等の研修支援」の研修モデルのほか、ヒアリングでニーズを把握し、オンラインで研修を行います。

□ 個人等の学びを支援します

道内の先生が「いつでも」「どこでも」「何度でも」学ぶことができるよう、研修内容に関するオンデマンド動画を配信します。

〔オンデマンド動画の内容（予定）〕
・ICT を活用した授業改善　・GWS 基本操作
・ICT 活用に向けた組織的な取組　など

もっと活用！

道立教育研究所や道立特別支援教育センターでも、地域や学校で実施する研修をサポートする取組を行っています。
（詳細は、ロゴをクリック）

道教委では、道内のリーディング DX スクール事業指定校の協力を得て、指定校の取組を発信するオープンセミナーを開催します。校内研修や個人での研修に活用ください。

〔問合せ〕　北海道教育庁 ICT 教育推進局 ICT 教育推進課 ICT 教育推進係　℡ 011-206-6467

ICT教育推進課では、今年度、ICT活用に加え、生成AIに係る研修やプロジェクトを進めています。

各学校からの依頼に合わせ、オンライン等による研修も実施しています。

ＩＣＴ活用ポータルサイト

ICTに関する情報を集約したサイトです

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/ict-portalsite.html

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

北海道学校教育情報化推進計画

学校教育情報化推進計画

ＩＣＴ活用授業指針

学びの深化・転換へのチャレンジ

ＩＣＴを活用した学びのＤＸ事業

小・中・高・特横断的な実践

１人１台端末の効果的な活用に向けて

授業のイメージ動画と資料

端末を活用した家庭学習の充実に係る関連情報

ICTを活用した家庭学習

「みんなで研修」プログラム

「いつでも研修」プログラム

動画と資料で短時間の研修

GIGAワールド通信

広報誌「GIGAワールド通信」

授業モデル

Tips編

デザイン編

ICTを授業で効果的に活用するヒント集

１時間の授業の中でのICT活用

関連情報へのリンク集

「みんなで研修」プログラム

GIGAワールド通信

道教委ICT活用サポートデスク

相談窓口

ICT活用に向けた校内研修プラン

ＩＣＴ関連情報

知りたい情報にアクセス

チャットボットが御案内します

特別支援教育におけるICT活用

情報モラル・セキュリティ

校務DX化の促進に係る関連情報

ＩＣＴ活用ミニハンドブック

ＩＣＴ

チャットボット

ICT活用授業モデル「Tips編」

ICT活用授業モデルTips編

授業等でICTを活用する小さなヒント（Tips）を集めたページです。
１単位時間の授業全体の展開については、今後「授業デザイン編」で提示する予定です。

小学校編　中学校編
高等学校編　特別支援学校編

ＩＣＴ活用ポータルサイトに戻る

全校種のTips一覧

すべての校種のTips一覧はこちらのファイルから確認できます。
Excel版　PDF版

約175事例
延べ約450事例を掲載

ICT 活用 TIPS　音の波形の表示・振動数の測定

何を使う
機器　スマートフォンまたはタブレット
ソフトウェア（アプリ）
n-Track Tuner（無料版）iPhone・Android

それをどう使う（それで何ができる）
・本来は、楽器のチューニングするためのアプリ。
・任意の振動数の音を発生させることができる。
・音さや声など発音体から出る音の振動数を測定することができる。
・スペクトラム・アナライザ機能により、音の成分について考えることができる。

ここが変わる、活用メリット【ICT活用Before-After】
高校　物理基礎「気柱の共鳴」
【 Before 】
○ 気柱共鳴実験装置を用
【 After 】 メリット
○ 従来の気柱共鳴実験に
を多角的に分析する力
○ スペクトラム・アナラ
について触れることで、

機器	スマホ	タブレット
	○	○

ICT 活用 TIPS　動画のスロー再生の活用

何を使う
機器　PC・スマートフォン・プロジェクター
ソフトウェア（アプリ）
WindowsPC付属の動画アプリ（フォト）など
スマートフォン・iPad 等付属の動画撮影アプリ

それをどう使う（それで何ができる）
・自由落下と水平投射をスマホ等のカメラで撮影し、フォトを使用し、スロー再生した状態で動画を編集する。
・編集した動画を授業で再生する。
・フォトでは、画像処理や説明文の追加なども含めて、簡単に動画を編集できる。

ここが変わる、活用メリット【ICT活用Before-After】
高校　物理基礎「自由落下と水平投射」
【 Before 】
○ ストロボ写真等で撮影して比較
【 After 】 メリット
○ 自由落下と水平投射の動画を簡単にスロー再生動画にできる。
○ スロー再生を観察することで、現象への生徒の気付きを促し、思考力を育成することができる。
○ YouTubeに動画をアップすることで、反転授業や復習に活用できる。
○ いろいろな実験をスローモーションで再生する動画を作成できる。
例　慣性の法則：https://youtube/DA1P9n4nO4U

機器（台数）	スマホ	タブレット	PC	その他	学習場面	一斉	個別	協働
			○	プロジェクター		○		
	撮影はスマホ・タブレット等							
授業実施時に必要な環境			インターネット接続		1人1台端末			
活用が想定される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	理科（物理）		
			○		活用が想定される場面	演示実験		

メニュー　小学校編　中学校編　高等学校編　特別支援学校編

ページ内移動
No1～25（25Tips）　No26～50（25Tips）　No51～75（25Tips）　No76～100（25Tips）　No101～125（25Tips）　No126～137（12Tips）

No1～25

No	Tips No	Tips	教科・科目等	活用が想定される場面	アプリなど
1	1	角度の測定	物理・地学・数学	演示実験・生徒実験	分度器（PROTRACTOR）
2	2	実験での時間の測定（ストップウォッチと動画）	理科・物理	演示実験・生徒実験	ストップウォッチアプリ、動画アプリ
3	3	スライドによる写真とアニメーションの提示	全ての教科等	通常授業	プレゼンテーションソフト
4	4	黒板への図や動画の投影	全ての教科等	一斉授業	
5	5	動画のスロー再生の活用	理科・物理	演示実験	動画アプリ
6	6	色覚特性を持つ児童生徒への配慮	全ての教科等	板書、資料作成	色のシミュレータ（無料アプリ）
7	7	音の波形を可視化する	情報、物理	演示実験	amp_modulation_Ver5.exe（自作アプリ）

教科・科目、Tipsごとに一覧
授業コンテンツと利用アプリを
提案

オンライン研修プログラム

ICT活用「みんなで研修」プログラム

ICT活用の基本的な考え方や実践例などについてテーマごとに研修が可能

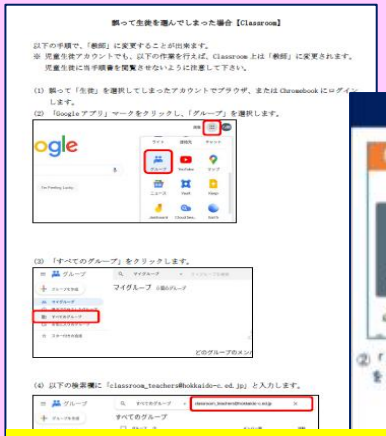
【テーマ例】
ICTを活用した授業改善／プログラミング教育／情報モラル教育／特別支援教育における活用／デジタル教科書　など

研修映像と参考資料

ICT活用「いつでも研修」プログラム

クラウドサービスの基本的な操作方法や活用方法について研修が可能

【テーマ例】
Google Classroom／Googleスライド／Google フォーム など



研修映像と操作マニュアル

ICT活用に向けた校内研修プラン

ICT活用に向けた校内研修プラン

各学校において組織的にICT活用を進めるための
校内研修プラン

研修プランの内容

①ICTを活用した実践の共有
②クラウドサービスの基本的な操作方法
③児童生徒の情報活用能力の育成
④オンデマンド研修映像を活用した
　テーマ別研修
⑤ワールドカフェ形式による情報共有
⑥教科等横断的な情報活用能力の育成
（高等学校編）

ICT活用ポータルサイトのコンテンツを活用することで、
どの学校でも研修が可能です。

広報誌「GIGAワールド通信」

GIGAワールド通信 Vol.5 2021.8.23

児童生徒の情報活用能力を育成し、主体的・対話的で深い学びを実現するために、ICTの積極的な活用が求められています。今号では、檜山教育局及び厚沢部町立厚沢部小学校の取組を紹介します。

檜山教育局の取組

檜山教育局では、管内の教員を遠隔会議システムでつなぎ、教員間交流を通じた分掌業務の充実や授業改善などに係る交流を通して資質向上を図る「オール檜山『学び合い』プロジェクト」を実施しています。

7月に開催され

ICTを活用した学校の取組の紹介

を活用した学習の充実に取り組んでいます。児童全員が双方向のオンライン学習をいつでも行うことができるようTeamsの使い方を朝の会で学んだり、全ての学年の教科等の学習で1人1台端末を積極的に活用したりするなど、学校全体でICT活用に取り組んでいます。

植物の成長の様子をタブレット端末に保存して、記録を残しています。

児童の端末のデータを一斉送信し、児童が自分のタイミングで必要な情報を見ることができます。

厚沢部小学校では、ICTを活用することにより、日常の授業に効果的な＋α をもたらし、教職員の働き方改革にもつながっています。「誰かがやる」のではなく、「みんなでやる」ことを目標に、学校全体で情報共有を行い、日々の実践に取り組んでいます。

厚沢部町立厚沢部小学校のホームページ
http://user.hoot.jp/~assho104/

GIGAワールド通信

ICT端末等を正しく利用するために～学校・家庭でも話し合いを！～

小・中学校において１人１台端末が整備され、道立高校等においても、本年度の入学生から個人端末の持ち込みによる１人１台端末の活用（*BYOD）が始まっています。
（※BYOD：Bring Your Own Device 個人が所有する端末を学校で利用すること）

また、家庭ではスマートフォンやゲーム機など、インターネット接続が可能な機器の普及が進み、これまで以上に学校と家庭が連携し、子どもたちの「情報モラル」を育むことが求められています。

子どもたちが安心・安全にICT端末等を利用できるよう、例えば次の事項について、学校や家庭等で話し合い、確認してみましょう。

情報モラル 学校でも家庭でも

★自分の心や体を守る

□寝る１時間前からはスマートフォンやICT端末等の利用を控えるなど、健康面に注意して使うこと
□ネット上には危険な情報を発信している人がいる場合があること　など

★相手を傷つけない

□ネ
□ネッ
る場

★情報

□自分のIDやパスワードを教えると自分の情報が悪用される危険性があること
□ネット上に発信された情報は世界中の人から見られる可能性があること　など

★ネット上のルールを理解する

□自分の作品ではないものを無断で掲載しないこと
□他人の名前や住所等の個人情報を無断で掲載しないこと　など

北海道教育庁ICT教育推進課ではICT活用ポータルサイトにおいて、情報モラルに係る情報を集めたリンク集を掲載していますので、ぜひ御活用ください。
URL：https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/ict-link.html#secu

北海道
教育委員会

第125回教育委員会対象セミナー　札幌開催

北海道における授業と校務での ICT活用の状況について

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課
ICT教育指導係長　関　口　祐太郎